

ZAMST BRAVE-PAD SHORTS が 2022年度グッドデザイン賞を受賞

スポーツ向けサポート・ケア製品ブランド「ZAMST(ザムスト)」を展開する、日本シグマックス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木 洋輔)が販売するパッド付ショーツ「ZAMST BRAVE-PAD SHORTS」が、このたび2022年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

■ZAMST BRAVE-PAD SHORTS

【製品概要(審査時説明文)】

スポーツ、特にバスケットボール競技において他者と身体が衝突・打撃を受けた際のダメージを抑えるパッドを備えたショーツ。打撃を受けやすくまたダメージの大きい太ももの前面から側面、臀部の側面と後面にパッドを配している。パッドの輪郭形状と素材の形状を工夫することで、トップ選手からも満足を得られる動きやすいデザインを目指した。

デザイナー:日本シグマックス株式会社 平間 利幸

【審査委員のコメント】

激しい動きを防御しようとする、見た目の形状自体に違和感が出そうだが、この製品は身体になじむ仕上がりとなっている。装着してみると違和感が無く、身体に触れて一体となっていくような感覚がある。身体が拡張・解放され、パッドショーツそのモノが守りでもあり、攻める気持ちを沸き立ててくれる。



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



<https://www.zamst-online.jp/SHOP/38890.html>

■グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを生かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

ZAMSTブランドとしてのグッドデザイン賞受賞は、2017年 機能性インソール「[ZAMST Footcraft STANDARD](#)」、2021年ランニング用膝サポーター「[ZAMST RK-1 Plus](#)」について3製品目となります。



GOOD
DESIGN

■ZAMST(ザムスト)について <https://www.zamst-online.jp/>

ZAMST は医療メーカーとして整形外科向け製品を 48 年にわたり開発・製造する日本シグマックス株式会社が 1993 年に設立したスポーツ向けサポート・ケア製品ブランドです。

人体の各関節をサポートするサポーター製品、筋肉に適度な圧迫を加えるコンプレッション製品、足部アライメントをサポートするインソール製品などを展開。

2014 年より行っている調査では、スポーツサポーター市場売上金額 7 年連続 No.1※1に認められています。



ZAMST はこれからも、人の身体から生み出されるパフォーマンスを最大限に引き出すことを目標に、人体を知り尽くした当社ならではの製品を開発提供し、日々前進し続けてまいります。

※1 2014 年～2020 年スポーツサポーター(スポーツ活動における関節部分への衝撃吸収、運動機能補助およびパフォーマンスアップを目的としたサポーター、医療・ヘルスケア用途を除く)市場 メーカー出荷金額ベース
株式会社矢野経済研究所調べ 2022 年 1 月現在 *本調査結果は、定性的な調査・分析手法による推計である

■ZAMST パートナーズ <https://www.sigmax.co.jp/partner/contract/>

ZAMST はバレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス、マラソン、ゴルフ、バドミントン、など、あらゆるスポーツにおいて限界に挑み続けるアスリートや団体を応援しています。



バレーボール: 西田有志、小野寺太志、山本智大、高野直哉、樋口裕希、大宅真樹、ウィルフレド・レオン、佐々木千紘/
バスケットボール: 富樫勇樹、河村勇輝、シェーファー アヴィ 幸樹、西田優大、保岡龍斗、津屋一球、伊藤駿、寺嶋恭之介、トレイ・ヤング、山本麻衣、東藤なな子、エレナ・デレ・ダン/サッカー: 畠中禎之輔、鷺木郁哉、小林祐介、佐藤亮/テニス: 綿貫陽介、日比野菜緒/マラソン: 岩出玲亜/ゴルフ: 穴井詩/バドミントン: 松友美佐紀 他アスリート・チーム多数

■日本シグマックス株式会社について <https://www.sigmax.co.jp/>

所在地:	東京都新宿区西新宿 1-24-1
創業:	1973年6月1日
資本金:	9,000万円
代表取締役社長:	鈴木 洋輔
社員数:	265名(2022年3月末)
売上高:	108.2億円(2022年3月期)



日本シグマックスは「身体活動支援業」を事業ドメインとし、医療、スポーツ、ウェルネスの分野で人々の身体活動を支援する製品・サービスを提供しています。創業以来「医療」、中でも「整形外科分野」に特化して各種関節用装具やギプスなどの外固定材、リハビリ関連製品などを製造・販売してまいりました。また、医療機器分野では、手術後の冷却療法のためのアイシングシステムのパイオニアであり、国内初のコードレス超音波骨折治療器「アクセラス mini」、超音波診断装置の活用範囲を広げ利便性を飛躍的に変えたポータブル超音波診断装置「ポケットエコー miruco」など、特徴のある製品を提供しています。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 佐々木・緒方・峠(広報担当)
TEL:03-5326-3254 FAX:03-5326-3201 MAIL:sasaki@sigmax.co.jp (佐々木)